

1 審判の用具

- 1.1 審判服上下、ソックス、靴（運動しやすいもの、トレーニングシューズ、スパイクなど）
- 1.2 審判ワッペンを左胸に、Respect ワッペンを右袖につける。



- 1.3 笛（鳴らなくなったときのために2個用意）。ストラップなどで手首などにつける。（首から長い紐で下げるのは危険なので避ける。）



- 1.4 時計（トラブルに備えて2個）、トスコイン、イエロー・レッド・グリーンカード、記録用紙、筆記用具。



- 1.5 副審用のフラッグ。

- 1.6 指輪、ネックレスなどのアクセサリ、スポーツ用でない普通のメガネなど、選手が試合中に身につけられないものは審判もつけられない。

2 試合前の打合せ

*主審がリードして4（3）人のレフリーチームで打合せを行います。

2.1 レギュレーション（試合規定）の確認。

- 2.1.1 前半 20 分、ハーフタイム 5 分、後半 20 分、前後半終了して同点の場合は延長戦-前後半 5 分-5 分、その後同点の場合は PK 3 人など。
- 2.1.2 試合開始時刻。4 人の時計を合わせる。
- 2.1.3 暑い季節は飲水、ウォーターブレイクをとるか？などを確認。
- 2.1.4 11 人制、8 人制かを確認。交代は主審の許可を得て行うか、自由な交代か？再入場はできるか？(U 12 は 8 人制、自由な交代、再入場可が多い。)

2.2 副審

- 2.2.1 スローインの時の監視の分担（副審は足元、主審は上半身を見るなど）
- 2.2.2 ボールがタッチラインを超えたが、どちらのスローインかわからない場合の合図
- 2.2.3 主審と副審が違う方向を差した場合の対処
- 2.2.4 オフサイドラインの監視
常にオフサイドラインをキープして、オフサイドポジションにいる競技者がオフサイドで罰せられる場合に旗を掲げる。(ボールが守備側の 2 人目の選手よりゴールに近い場合は、ボールがオフサイドラインとなるので注意)。
- 2.2.5 旗が揚がったが、主審が採用しない場合のキャンセルの方法。
- 2.2.6 主審が気づかない場合はどうするか？
- 2.2.7 ゴールインの合図。明らかなゴールの場合は主審とアイコンタクトしてその前に違反がないことを確認してからハーフウェイ方向に 15-25m 走る。
- 2.2.8 きわどいゴールインの場合は、一旦旗を上に掲げて、主審とアイコンタクトの後にハーフウェイ方向に 15-25m 走る。主審は笛をふく。
- 2.2.9 ファールサポート。主審から見えないファールがあった場合はフラグを振って合図する。
- 2.2.10 負傷者が発生しているが主審が気づいていない場合の合図の方法。
- 2.2.11 第 4 の審判がいない場合の交代、ベンチコントロールをどのようにするか。

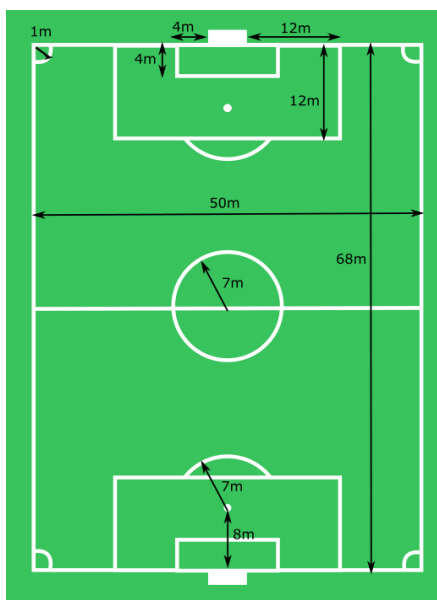
2.3 第 4 の審判

- 2.3.1 試合の記録をとってもらう。

- 2.3.2 交代の手続き。
- 2.3.3 ベンチコントロール。主審の判定に異議を示した場合、第 4 の審判の指示に従わない場合、揉め事が起きた場合の主審への伝え方。
- 2.3.4 負傷者が出た場合。
- 2.3.5 主審、副審が見ていないところで不正行為があった場合。
- 2.3.6 アディショナルタイムの伝え方。

3 フィールドをチェック

- 3.1 タッチライン、ゴールライン、ゴールエリア、ペナルティーエリア、コーナーエリア、フラッグポスト、任意のマーク（コーナーキック時の距離の目安）を確認。



- 3.2 テクニカルエリアを確認。（ない場合はベンチから離れることができない）
- 3.3 ゴールをチェック。
 - 3.3.1 ネットに穴、破れがないか。（ある場合は補修を依頼する）
 - 3.3.2 ゴールはフィールドに固定されているか？

4 ボールのチェック

- 4.1 ボールは大会開催者が用意するか、両チームで持ち寄るか？
- 4.2 あらかじめ、傷などがいないかチェックをして、使用する全てのボールの気圧を整える。（U7-9 は0.6 気圧.U10-12 は0.8 気圧）

5 両チームのユニフォームの組合せを確認

- 5.1 フィールドプレイヤー、キーパーの区別が容易な色であることを確認する。同じ色で被っている場合はコイントスを行い、結果に従いユニフォームを変えてもらう。

選手が集合してから……………

6 選手の用具などのチェック

- 6.1 メンバー表で選手の名前と背番号を照合、用具の不備はないか、アクセサリ、メガネなど、危険なものを身につけていないか？規定に反した色のアンダーシャツを身につけていないか？

7 入場

- 7.1 整列して一礼、コイントスを行う。勝った方がキックオフ、またはどちらに攻めるかを選び、反対のチームが残った方を選ぶ。

- 7.2 副審はコーナーポスト、ゴールネットをチェックしてポジションにつく。

8 キックオフ

- 8.1 主審は時計をスタートして、笛を吹く。(ボールが動くまでの数秒を終了時間に追加すること)

- 8.2 主審は副審を常に視野に入れ、できるだけプレーの争点を副審と挟んでみるようにポジションをとるよう心がける。

9 試合中の動き (副審)

- 9.1 副審は通常はピッチに正対して左手にフラッグを持ち、サイドステップでオフサイドラインをキープする。

- 9.2 ボールがタッチラインを出たときはスローインをするチームの攻める方向に斜め上 45度でフラッグを揚げ、3秒程度キープしたのちおろす。

- 9.3 ボールがゴールラインを出た時は、フラッグを右手に持ってゴールキック、またはコーナーキックを示す。(3秒程度止まったのちに下げる)

- 9.4 ファールがあった時はフリーキックを行うチームが攻めるゴールの方向にフラッグをあげる。

- 9.5 ゴールキックの時はボールがゴールエリア内に静止するのを確認してから次のオフサイドラインを監視しやすい位置に移動。

- 9.6 キーパーがボールを手で扱っている時はペナルティエリアを出ないか監視する。

- 9.7 ボールがゴールラインを出そうな場合は明らかにそのままラインを超えてもゴールラインまで走るように心がける。

10 スローイン、フリーキック、ゴールキック、コーナーキック、ペナルティーキック、ドロップボール

11 前半の終了

12 ハーフタイム

13 後半の終了、

14 延長戦、ペナルティーマークからのキック